

第 1 章

概 況

I 県南地域の概況

地域の特性

(1) 地勢

県南地域は、福島県中通り地方の最南端で栃木、茨城の両県に接し、白河市（平成17年11月7日、白河市、表郷村、東村、大信村が合併）、西白河郡及び東白川郡の1市4町4村からなり、その面積は1,233.24km²と県土の8.9%を占めています。

東部に阿武隈山系、西部に奥羽山系、南部に八溝山系があり、地域のほぼ中央を北に流れる阿武隈川と、南東に流れる久慈川の各流域に沿って田園が広がり、清流と緑豊かな美しい源流の郷であります。

気候は、西白河地方では比較的冷涼で気温が低く、降雨量が多いのに対し、東白川地方は温暖で積雪も極めて少ないのが特徴です。

東北自動車道、国道4号、東北新幹線、東北本線という東日本の大動脈上に位置し、さらに、福島空港・あぶくま南道路（あぶくま高原道路）等、高速交通体系が充実されつつあり、永年悲願としていた南会津と結ぶ国道289号の甲子トンネルが平成20年度中に開通します。

(2) 人口

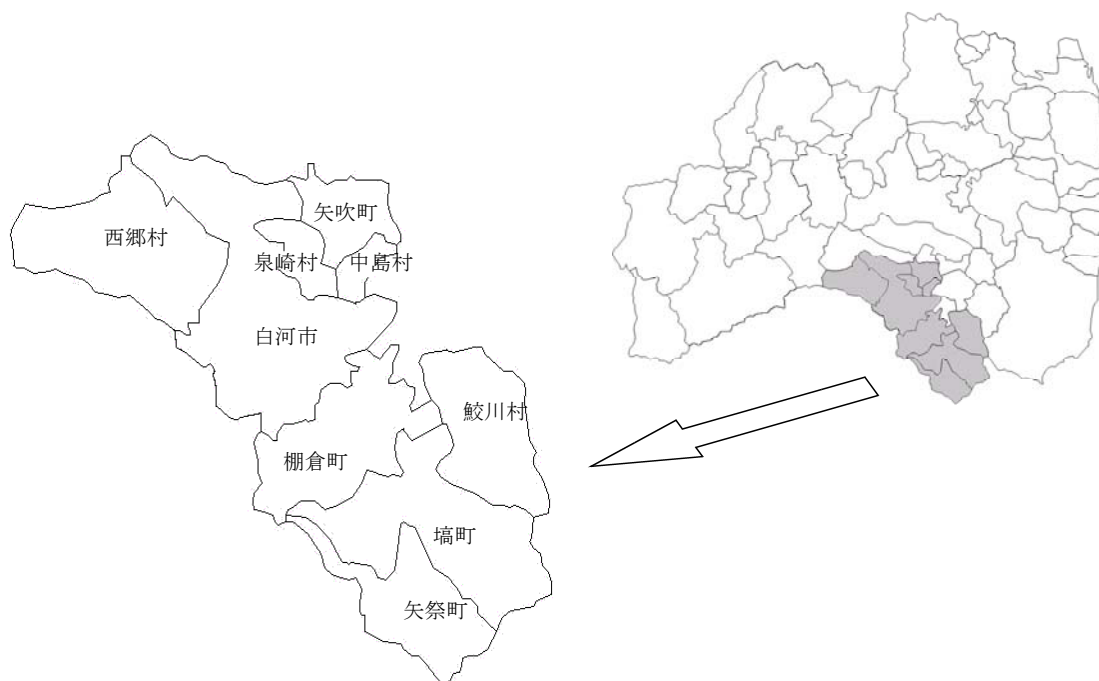
人口は、平成20年4月1日現在で151,734人と県全体の7.4%を占めています。年齢別では、年少人口比率が14.9%と県平均より高く、また、老年人口比率は23.0%と県平均より低くなっています。

人口の推移を平成17年と平成12年の国勢調査の比較でみると、県全体では1.7%減少しているのに対し県南地域では1.1%の減少となっています。

(3) 産業

産業は、白河市及び西白河郡では、電気、機械等の製造業を中心とした企業の立地や各種サービス産業の拡大により、第2次産業や第3次産業の占める割合が高くなっています。一方、東白川郡では、米、畜産、こんにゃく、久慈スギなどの特産物を中心とした農業や林業及び関連地場産業を基幹として発展してきましたが、今日では製造業が地域経済を牽引しています。

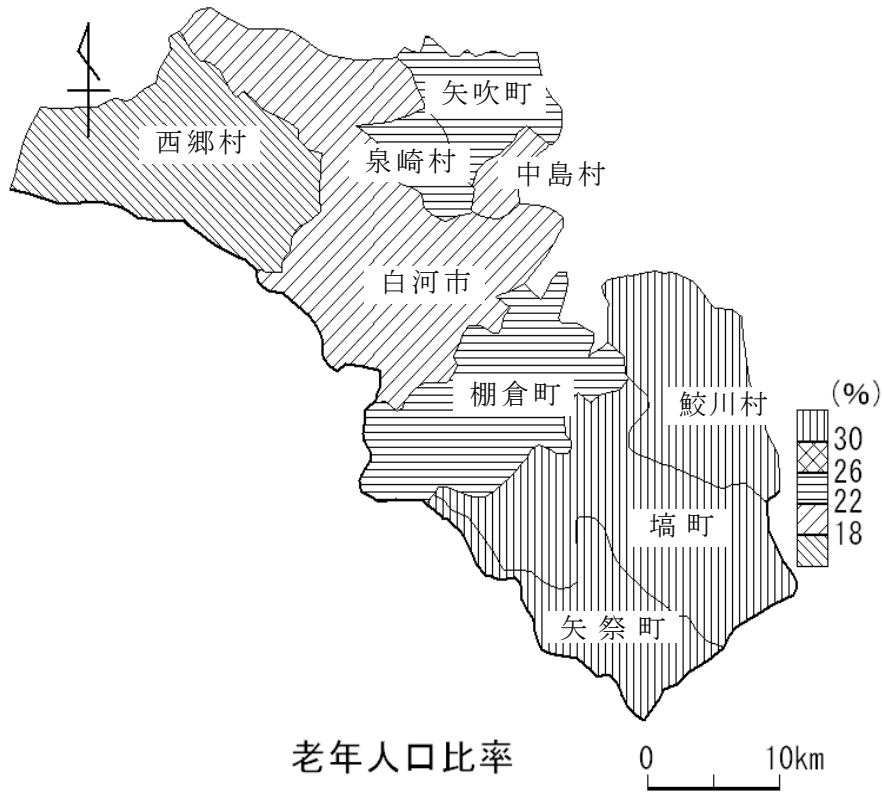
県南地域は、みちのくの玄関口として首都圏に隣接するという地理的優位性を有しており、幹線交通網の整備伸展に伴い、「栃木・福島地域」の一部として首都機能移転先候補地に選定されるなど、その優位性が高く評価されています。



管内市町村の概況

区 分	面積 (Km ²)	世帯数 (世帯)	人口 (人)	人口密度 (人/Km ²)	年齢別人口構成比(%)				
					年少人口 0~14歳	生産年齢 人口 15~64歳	老年人口		
							65歳以上	75歳以上	
白河市	305.30	23,179	65,357	214.1	15.2	63.0	21.8	11.4	
西 白 河 郡	西郷村	192.32	6,493	19,696	102.4	15.9	66.3	17.7	9.0
	泉崎村	35.40	1,960	6,689	189.0	14.6	62.7	22.6	12.1
	中島村	18.91	1,339	5,081	268.7	16.6	61.7	21.7	11.5
	矢吹町	60.37	5,951	18,753	310.6	13.7	63.0	23.3	11.8
	計	307.00	15,743	50,219	163.6	15.0	64.1	20.9	10.7
東 白 川 郡	棚倉町	159.82	4,814	15,400	96.4	15.6	60.3	24.1	12.8
	矢祭町	118.22	1,969	6,515	55.1	12.7	55.3	32.0	18.3
	埴町	211.60	3,188	10,145	47.9	13.2	55.7	31.1	17.6
	鮫川村	131.30	1,124	4,098	31.2	13.3	55.5	31.2	18.1
	計	620.94	11,095	36,158	58.2	14.4	57.6	28.3	15.7
県南地域計	1,233.24	50,017	151,734	123.0	14.9	62.1	23.0	12.2	
福島県	13,782.75	722,282	2,057,199	149.3	14.2	61.7	24.0	12.5	

※注 調査期日は、「面積」がH17.10.1 その他の項目がH20.4.1である。
(出典: 全国都道府県市区町村別村面積調、福島県の推計人口)



(65歳以上の人口比率: 平成20年4月1日現在)

II 県南保健福祉事務所の概況

1 沿革

県では、平成14年4月1日から、保健と福祉の連携を強化し、より良い行政サービスを提供するため、従来の保健所と社会福祉事務所を統合し、3部7グループと棚倉支所(旧県南保健所棚倉支所)で構成する県南保健福祉事務所として再編しました。さらに、児童相談体制の充実を図るため、各児童相談所の「相談室」を事務所内に設置しました。

なお、保健福祉事務所は、地域保健法による保健所を兼ねています。

○県南社会福祉事務所

昭和26年 3月 社会事業法制定

昭和26年10月 東白川福祉事務所が東白川郡4町村を福祉地区として、また、西白河福祉事務所が西白河郡7町村を福祉地区として設置されました。

昭和44年 4月 行政機構改革に伴い従来の福祉地区が統合され、白河社会福祉事務所が設置されるとともに、出張所として東白川福祉事務所が置かれました。

昭和48年 4月 機構改革により、東白川福祉事務所の生活保護現業員が白河社会福祉事務所に配置替えされ、東白川福祉事務所は福祉相談を主たる業務とする事務所となりました。

平成 6年 4月 機構改革により、事務所の名称が白河社会福祉事務所から県南社会福祉事務所に変更されました。また、東白川福祉事務所は廃止され、東白川福祉相談コーナーとなりました。

○県南保健所

(旧白河保健所)

昭和19年 9月 白河市新蔵に元逋信省簡易保険相談所の施設の譲渡を受け、西白河郡一円を所管区域として白河保健所が設置されました。

昭和30年 8月 白河市字郭内127番地に新築移転しました。

昭和53年 7月 庁舎改築着工に伴い、白河市中町郵便局舎に仮移転しました。

昭和54年 7月 RC造3階建て庁舎が落成、移転しました。

平成 9年 3月 地域保健法の施行に伴う保健所の再編統合により廃止されました。

(旧棚倉保健所)

昭和19年 9月 棚倉町大字棚倉字北町142番地に東白川郡及び石川郡一円を所轄地区として棚倉保健所が設置されました。

昭和23年 5月 石川保健所の設置に伴い、所管区域が東白川郡棚倉町外9町村となりました。

昭和29年 3月 棚倉町北町甲149番地に新築移転しました。

昭和58年 3月 棚倉町棚倉字城跡34番地1にRC造2階建て庁舎を新築、移転しました。

平成 9年 3月 地域保健法の施行に伴う保健所の再編統合により廃止されました。

(県南保健所)

平成 9年 4月 地域保健法施行に伴う保健所の再編統合により、白河・棚倉両保健所が統合され、白河市字郭内127番地に新たに県南保健所が、棚倉町棚倉字城跡34番地1に県南保健所棚倉支所が置かれました。

○県南保健福祉事務所

平成14年 4月 社会福祉事務所と保健所の組織統合により、県南保健福祉事務所となりました。

平成15年 4月 旧県南保健所庁舎の改修完了に伴い、現在の同一庁舎内組織における執行体制となりました。

平成16年 4月 衛生検査体制の再編により、検査部門が衛生研究所県中支所に統合され、衛生推進グループ検査チームが廃止となりました。

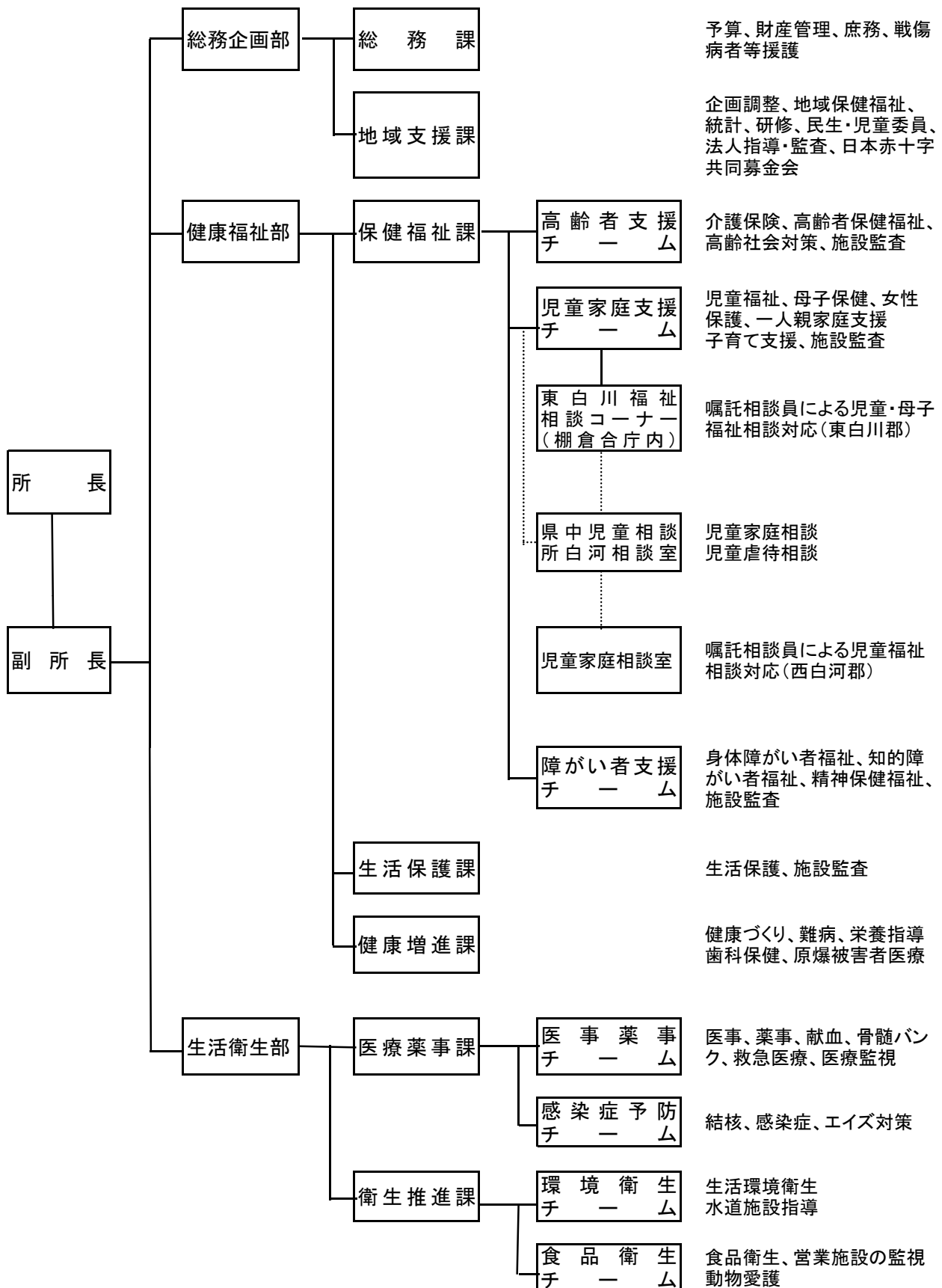
平成18年 4月 家庭児童相談室は、中央児童相談所白河相談室に統合されました。

平成19年 4月 中央児童相談所白河相談室は、県中児童相談所白河相談室となりました。

平成20年 4月 県南保健所棚倉支所は、本所と統合されました。

2 組織機構図

平成20年4月1日現在



3 職員の配置状況

(平成20年4月1日)

職種別	事務 吏員	技 術 吏 員							技 能 員	計	兼 務 嘱 託				
		医	獣	薬	栄	士	保	技			福	員	員	員	運
		師	師	劑	養	士	健	師			主	心	力	相	転
社	司	童	判	支	協	手									
所 長		1							1						
副 所 長 (兼 総 務 企 画 部 長)	1								1						
総 務 企 画 部	部 長 (副 所 長 と 兼 務)														
	総 務 課	課 長	1												
		課 員	3							4					2
	地 域 支 援 課	課 長	1												
		キ ャ ッ プ 課 員	2							5					
健 部	課 員	1						1							
健 康 福 祉 社 部 生 活 衛 生	部 長		1						1						
	主 幹 兼 副 部 長 (兼 健 康 増 進 課 長)							1		1					
	保 健	課 長	1												
		高 支 援 者	キ ャ ッ プ 課 員	1											
	福 祉	庭 支 援 家	キ ャ ッ プ 課 員	1					1						
		障 がい 者	キ ャ ッ プ 課 員	2					1					3	
	社 部	課 長	1												
		キ ャ ッ プ 課 員	2							7					
	生 活 保 護 課	課 員	4											1	
		健 康 増 進 課 課 長 (主 幹 兼 副 部 長 と 兼 務)													
部 生 活 衛 生	課 員					3	1	1		6					
	キ ャ ッ プ 課 員														
活 衛 生	部 長								1	1					
	副 部 長 (兼 衛 生 推 進 課 長)			1						1					
	医 療 薬 事 課	課 長			1										
		薬 事 課	キ ャ ッ プ 課 員												
			チ ー ム 員			2			1		6				
		感 染 防 症 課	キ ャ ッ プ 課 員						1						
	チ ー ム 員				1										
生 推 進 課	課 長 (副 部 長 と 兼 務)														
	環 衛 生 境 課	キ ャ ッ プ 課 員						1							
		チ ー ム 員			1			1		10					
	食 品 衛 生 課	キ ャ ッ プ 課 員		2				1							
チ ー ム 員			1	1			1	1							
本 所 計		25	1	4	6	3	1	12	5	1	58			5	2
東 白 川 福 祉 相 談 コー ナー ※															2
県 相 河 中 児 童 白 室	室 長		(1)							(1)					
	室 員		(4)					(3)		(7)				2	
	計		(5)					(3)		(8)				2	
合 計		(5)						(3)		(8)				9	2
		25	1	4	6	3	1	12	5	1	58			9	2

※東白川福祉相談コーナーには、県中児相白河相談室の家庭相談員1人と県南保健福祉事務所の母子自立支援員兼女性相談員1人が配置されています。()内の数字は、県南保健福祉事務所の兼務職員数を表示しています。

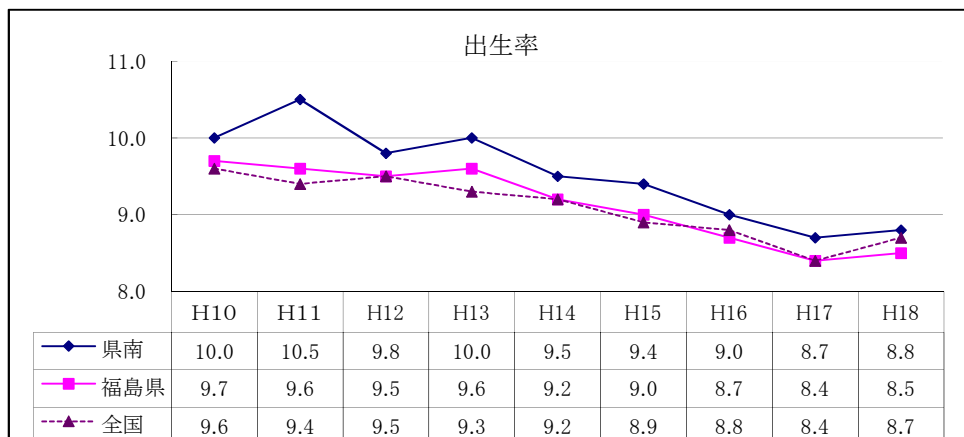
Ⅲ 人口動態

1 人口動態の推移

(1) 出生

平成18年の出生率（人口千対）は、8.8で前年より0.1ポイント上昇し、県平均、全国平均と比較すると、0.3ポイント上回っています。

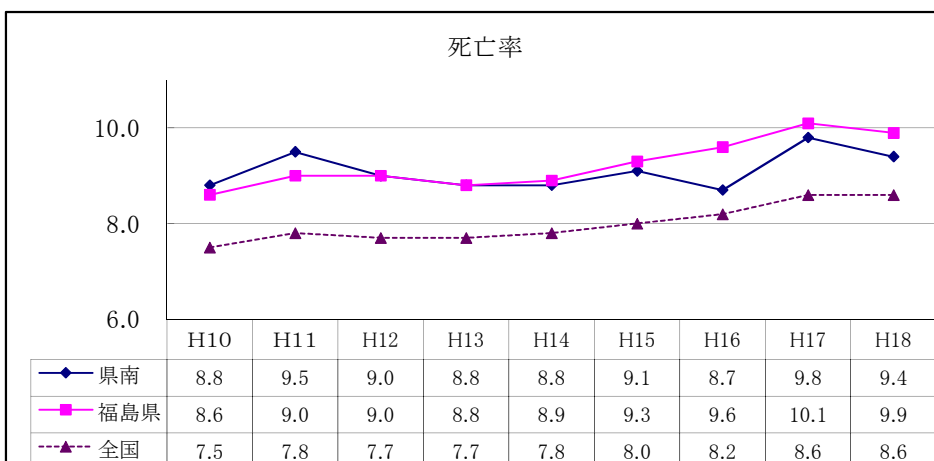
平成10年以降の年次推移をみると、県平均、全国平均に比べ高い数値にありますが、低下傾向にあり、平成10年では、10.0でしたが、平成18年は、平成10年より1.2ポイント低下しています。



(2) 死亡

平成18年の死亡率（人口千対）は、9.4で前年より0.4ポイント低下し、県平均、全国平均と比較すると、県平均より0.5ポイント下回っていますが、全国平均より0.8ポイント上回っています。

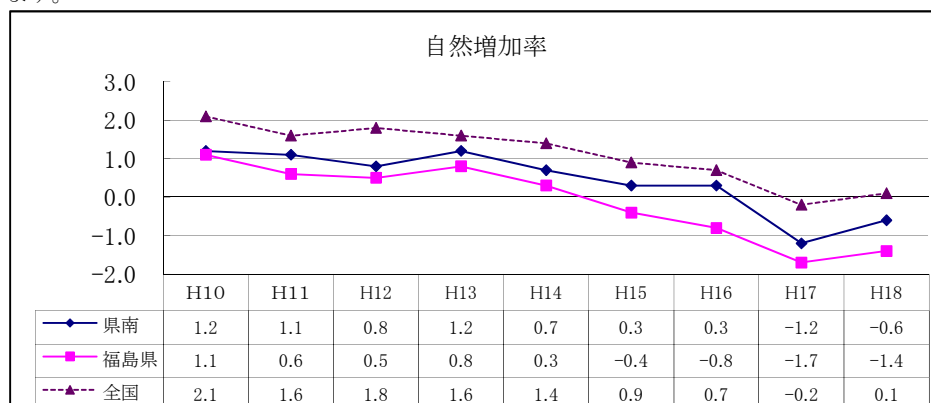
平成10年以降の年次推移をみると、県平均、全国平均は増加傾向にありますが、県南地域では横ばい傾向がみられ、平成10年では、8.8でしたが、平成18年は、平成10年より0.6ポイント上昇しています。



(3) 自然増加

平成18年の自然増加率（人口千対）は、-0.6で、前年より0.6ポイント上昇し、県平均、全国平均と比較すると、県平均より0.8ポイント上回り、全国平均より0.7ポイント下回っています。

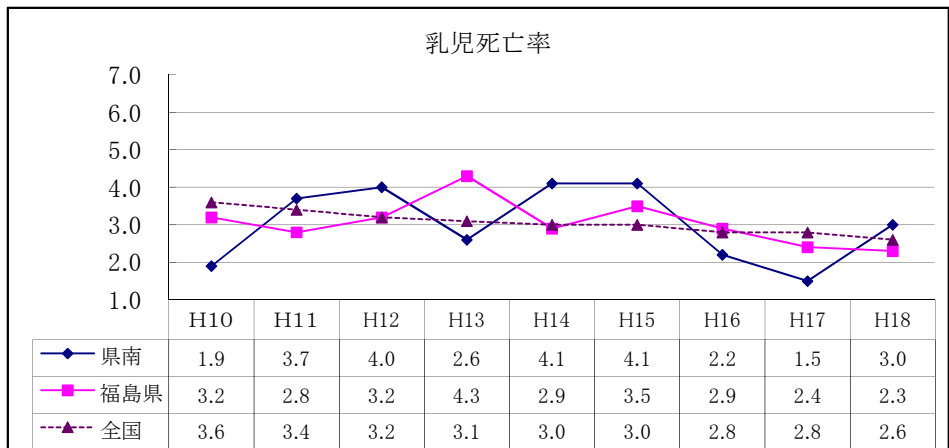
平成10年以降の年次推移をみると、県平均、全国平均と同様に、低下傾向にあり、平成10年では1.2でしたが、平成18年は、平成10年より1.8ポイント低下しています。



(4) 乳児死亡

平成18年の乳児死亡率（出生千対）は、3.0で、前年より1.5ポイント上昇し、県平均、全国平均と比較すると上回っています。

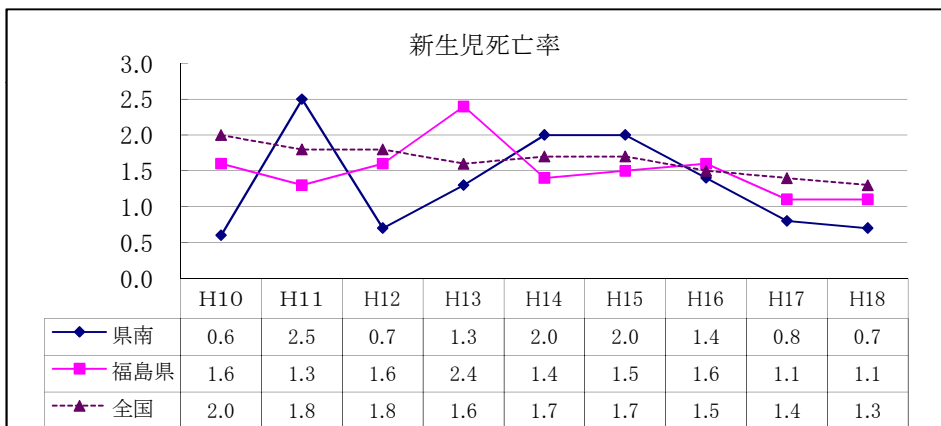
平成10年以降の年次推移をみると、全国平均は徐々に低下傾向にあります。県平均と同様に年次により上下の変動が大きくなっており、平成10年には1.9でしたが、平成18年は、平成10年より1.1ポイント上昇しました。



(5) 新生児死亡

平成18年の新生児死亡率（出生千対）は、前年より0.1ポイント低下した0.7で、県平均、全国平均より下回っています。

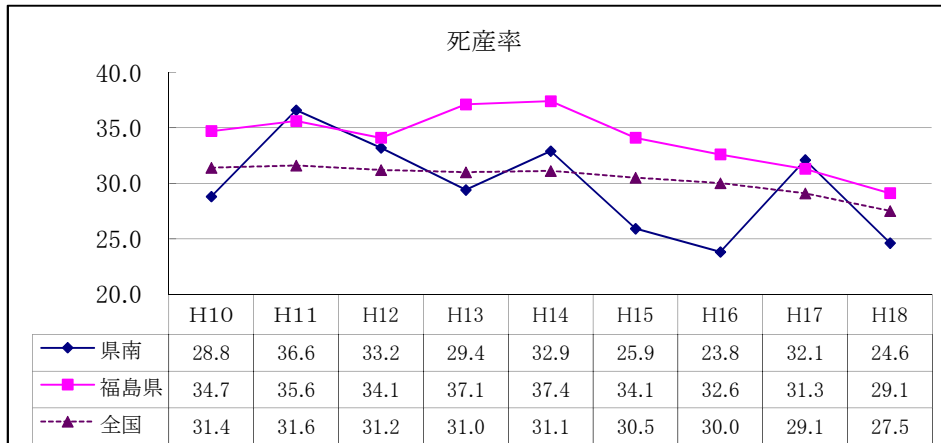
平成10年以降の年次推移をみると、県平均、全国平均を上回った年もあれば、下回った年もあるなど上下の変動幅が大きくなってしています。平成10年には0.6でしたが、平成18年は、平成10年より0.1ポイント上回っています。



(6) 死産

平成18年の死産率（出産千対）は、24.6で前年より7.5ポイント低下し、県平均、全国平均より低くなっています。

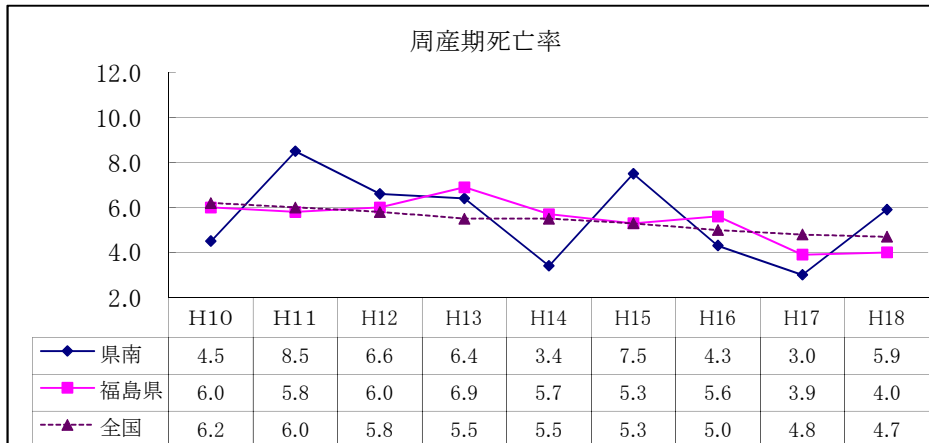
平成10年以降の年次推移をみると、上下の幅が大きく推移しており、平成10年には28.8でしたが、平成18年は、平成10年より4.2ポイント低下しています。



(7) 周産期死亡

平成18年の周産期死亡率（出産千対）は、5.9で前年より2.9ポイント上昇し、県平均、全国平均より高くなっています。

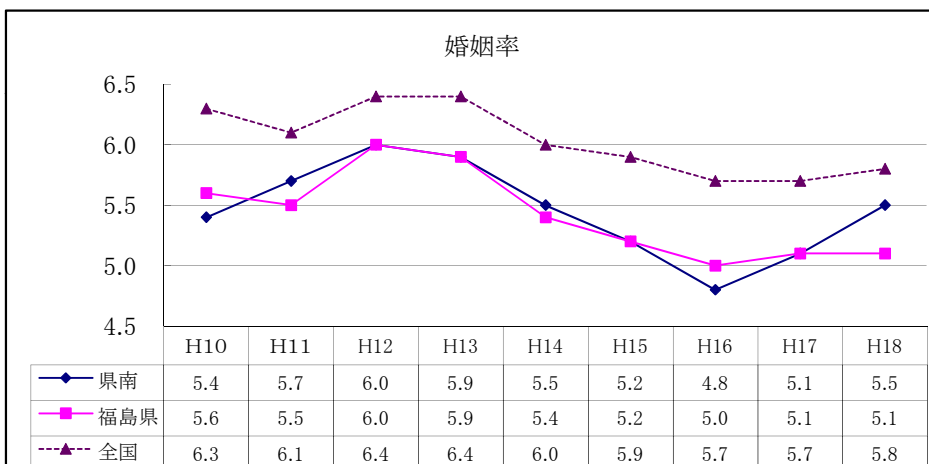
平成10年以降の年次推移をみると、波がありますが県平均、全国平均と同様に低下傾向にあり、平成10年では4.5で、平成18年は、平成10年より1.4ポイント上昇しました。



(8) 婚姻

平成18年の婚姻率（人口千対）は、5.5で前年より0.4ポイント上昇し、県平均を上回っていますが全国平均を下回っています。

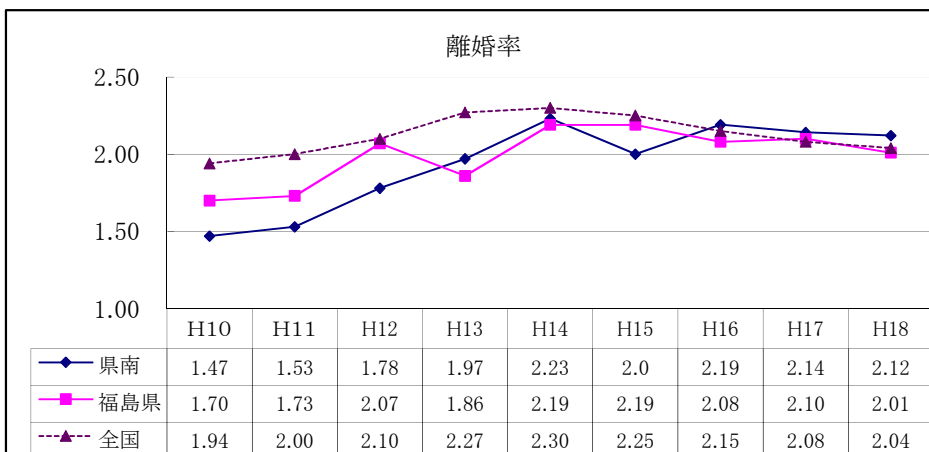
平成10年以降の年次推移をみると、県平均、全国平均と同様に、低下傾向にあったものがいくらか上向き傾向を見せており、平成16年を底に平成17、18年と2年続きで前年より上昇しました。



(9) 離婚

平成18年の離婚率（人口千対）は、2.12で前年より0.02ポイント低下したが、県平均、全国平均を上回っています。

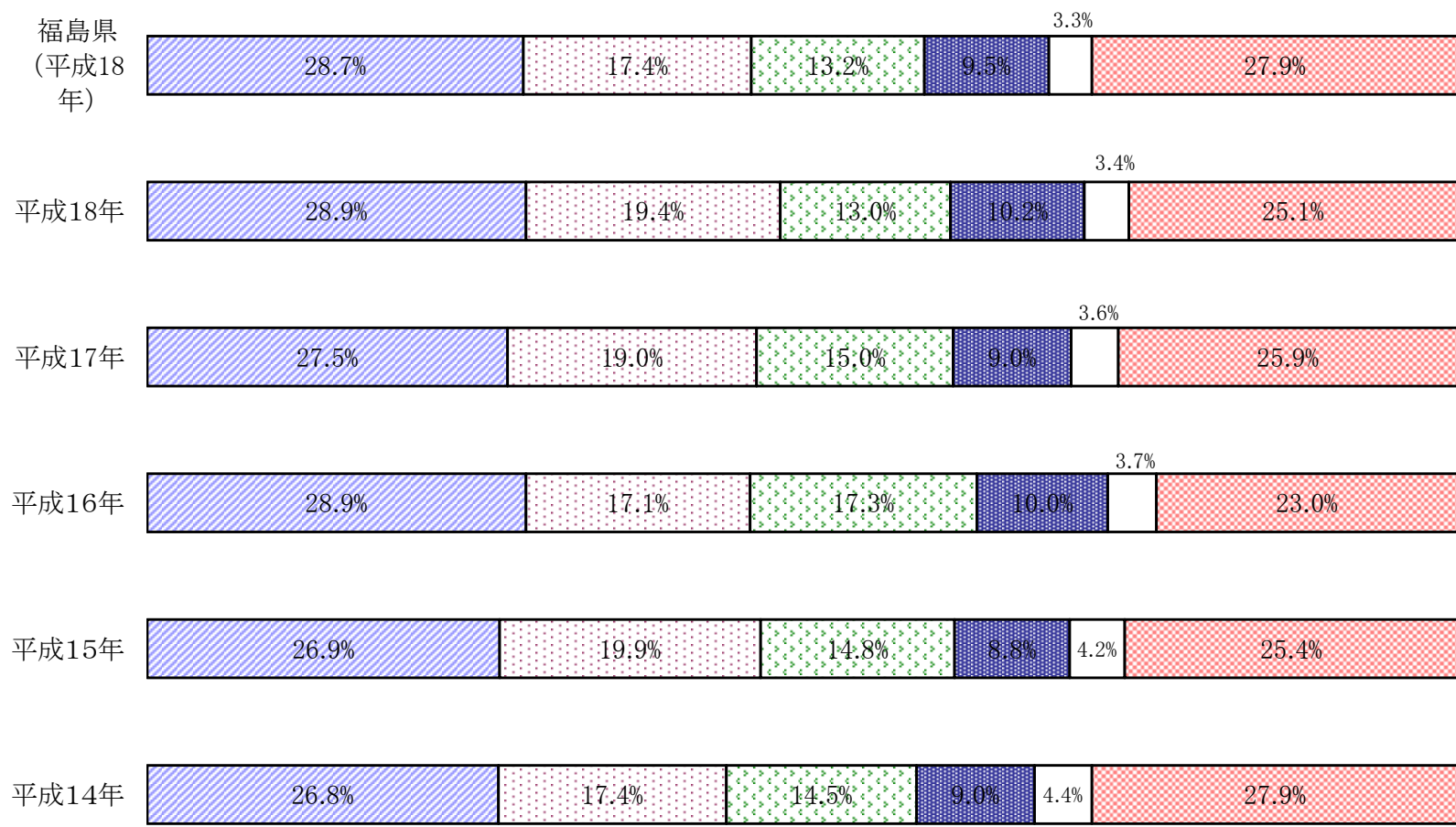
平成10年以降の年次推移をみると、県平均、全国平均と同様に、上昇傾向にありましたが、平成17以降は上昇に歯止めがかかった傾向を見せております。



(出典：保健統計の概況・福島県保健福祉部)

県南地域の死因の推移

■悪性新生物 ■心疾患 ■脳血管疾患 ■肺炎 ■不慮の事故 ■その他



(出典:保健統計の概況<平成14~18年版・福島県保健福祉部>

3 市町村別標準化死亡比（SMR）：男性（平成14～18年）

市町村	死因	総死亡数	結核	悪性新生物	糖尿病	高血圧性疾患	心疾患 (高血圧症を除く)	脳血管疾患	肺炎	慢性閉塞性肺疾患	喘息	肝疾患	腎不全	老衰	不慮の事故	自殺
県南保健所		1.12	0.31	1.03	1.09	1.10	1.34	1.29	1.13	1.46	1.33	0.68	0.89	1.28	1.00	1.25
白河市 (旧表郷村・東村・大信村も含む)		1.06	0.49	1.03	1.08	1.29	1.19	1.09	0.98	1.64	1.45	0.89	0.91	0.62	0.85	1.26
西郷村		0.93	0.00	0.79	0.57	0.61	1.19	1.05	1.19	1.62	0.80	0.59	0.72	0.21	0.83	0.76
泉崎村		1.24	0.00	1.05	1.10	0.00	1.47	1.56	1.94	1.45	4.67	0.00	0.84	4.18	1.01	1.18
中島村		1.02	0.00	0.88	0.71	0.00	1.16	1.85	1.01	0.00	0.00	1.33	0.54	3.07	0.65	1.09
矢吹町		1.06	0.00	0.99	1.36	0.00	1.60	1.02	1.02	1.41	1.65	0.12	0.59	0.42	1.03	1.20
棚倉町		1.23	0.00	1.25	1.41	0.76	1.34	1.51	1.19	1.23	1.00	0.73	0.36	1.78	1.30	1.66
矢祭町		1.46	0.00	1.24	1.11	1.81	1.64	1.76	1.74	2.20	0.00	0.70	0.43	8.46	1.41	1.20
塙町		1.39	0.00	1.10	1.05	4.56	1.64	2.03	1.33	1.16	0.00	0.44	1.88	1.53	1.70	2.05
鮫川村		1.34	3.69	1.04	1.71	0.00	1.78	2.42	0.67	0.56	3.64	1.07	3.27	0.00	0.98	0.53

※ SMR = $\frac{\text{当該市町村死亡数}}{\sum \text{当該市町村年齢階級別人口} \times \text{基準年齢階級別死亡率}}$ SMR = 1 : 全国平均値
 SMR > 1 : 全国平均値以上
 SMR < 1 : 全国平均値以下

当該市町村死亡数：市町村別（死因別）死亡数

当該市町村5年階層別人口：市町村5歳階級別人口（資料：福島県の推計人口 年齢5歳階級別人口 平成14～18年10月1日現在）

基準年齢階級別死亡率：全国5歳階級別死亡数／全国5歳階級別人口（資料：人口動態統計（平成16年） 年齢5歳階級別人口（平成16年10月1日現在）、厚生労働省ホームページ）

3 市町村別標準化死亡比（SMR）：女性（平成14～18年）

市町村	死因	総死亡数	結核	悪性新生物	糖尿病	高血圧性疾患	心疾患 (高血圧症を除く)	脳血管疾患	肺炎	慢性閉塞性肺疾患	喘息	肝疾患	腎不全	老衰	不慮の事故	自殺
県南保健所		1.13	0.21	0.96	1.36	1.09	1.36	1.38	1.16	1.68	1.07	0.38	0.64	1.39	1.36	1.10
白河市 (旧表郷村・東村・大信村も含む)		0.99	0.00	0.88	1.29	0.74	1.14	1.24	0.96	0.71	1.12	0.37	0.52	0.71	1.37	1.02
西郷村		1.15	0.00	0.95	0.45	1.11	1.19	1.37	1.43	8.25	0.79	0.52	1.04	0.52	1.41	0.98
泉崎村		1.36	0.00	0.96	3.12	2.04	1.94	1.32	1.60	2.28	0.00	0.00	0.00	4.34	0.65	0.90
中島村		0.96	0.00	0.84	0.82	1.34	1.13	1.01	0.66	0.00	5.72	0.00	0.47	2.99	0.85	1.18
矢吹町		1.04	0.00	1.04	2.09	0.76	1.43	1.04	1.00	0.42	1.62	0.27	0.67	0.69	1.21	0.84
棚倉町		1.28	0.00	1.12	1.08	0.44	1.38	1.90	1.67	0.49	0.00	0.62	0.31	0.98	1.82	1.55
矢祭町		1.77	0.00	1.21	1.23	1.00	1.91	2.06	1.49	0.00	0.00	0.00	1.06	9.76	0.32	1.33
埴町		1.35	3.01	1.06	1.18	3.85	1.96	1.45	1.27	1.43	0.00	0.90	0.68	1.43	2.24	1.13
鮫川村		1.37	0.00	0.77	2.91	1.58	2.03	2.30	0.78	1.77	3.38	0.00	2.23	0.00	1.01	2.09

※ SMR = $\frac{\text{当該市町村死亡数}}{\sum \text{当該市町村年齢階級別人口} \times \text{基準年齢階級別死亡率}}$ SMR = 1 : 全国平均値
 SMR > 1 : 全国平均値以上
 SMR < 1 : 全国平均値以下

当該市町村死亡数：市町村別（死因別）死亡数

当該市町村5年階層別人口：市町村5歳階級別人口（資料：福島県の推計人口 年齢5歳階級別人口 平成14～18年10月1日現在）

基準年齢階級別死亡率：全国5歳階級別死亡数／全国5歳階級別人口（資料：人口動態統計（平成16年） 年齢5歳階級別人口（平成16年10月1日現在）、厚生労働省ホームページ）

4 死亡数（選択死因・市町村別）：男性（平成14～18年）

（単位：人）

死因 市町村	総死亡数	結核	悪性 新生物	糖尿病	高血圧 性疾患	心疾患 (高血圧症を 除く)	脳血管 疾患	肺炎	慢性閉 塞性肺 疾患	喘息	肝疾患	腎不全	老衰	不慮の 事故	自殺
県南保健所	3,838	3	1,228	45	14	639	492	357	92	13	45	48	49	180	168
白河市 (旧表郷村・東 村・大信村も含 む)	1,552	2	526	19	7	243	176	133	44	6	25	21	10	65	72
西郷村	410	0	121	3	1	73	51	48	13	1	5	5	1	19	13
泉崎村	187	0	55	2	0	31	26	27	4	2	0	2	7	8	7
中島村	120	0	36	1	0	19	24	11	0	0	3	1	4	4	5
矢吹町	455	0	147	7	0	95	48	40	11	2	1	4	2	23	20
棚倉町	437	0	154	6	1	66	59	39	8	1	5	2	7	24	23
矢祭町	218	0	64	2	1	34	29	24	6	0	2	1	14	11	7
埴町	329	0	90	3	4	54	53	29	5	0	2	7	4	21	19
鮫川村	130	1	35	2	0	24	26	6	1	1	2	5	0	5	2

（出典：福島県保健福祉部「保健統計の概況 平成15～19年版」）

4 死亡数（選択死因・市町村別）：女性（平成14～18年）

（単位：人）

死因 市町村	総死亡数	結核	悪性 新生物	糖尿病	高血圧 性疾患	心疾患 (高血圧症を 除く)	脳血管 疾患	肺炎	慢性閉 塞性肺 疾患	喘息	肝疾患	腎不全	老衰	不慮の 事故	自殺
県南保健所	3,234	1	740	49	24	676	563	309	33	11	12	40	151	94	55
白河市 (旧表郷村・東 村・大信村も含 む)	1,217	0	293	20	7	244	218	111	6	5	5	14	33	41	22
西郷村	405	0	90	2	3	73	69	47	20	1	2	8	7	12	6
泉崎村	173	0	33	5	2	43	24	19	2	0	0	0	21	2	2
中島村	93	0	22	1	1	19	14	6	0	2	0	1	11	2	2
矢吹町	354	0	96	9	2	85	51	32	1	2	1	5	9	10	5
棚倉町	378	0	89	4	1	71	80	46	1	0	2	2	11	13	8
矢祭町	229	0	42	2	1	43	38	18	0	0	0	3	48	1	3
埴町	273	1	58	3	6	69	42	24	2	0	2	3	11	11	4
鮫川村	112	0	17	3	1	29	27	6	1	1	0	4	0	2	3

（出典：福島県保健福祉部「保健統計の概況 平成15～19年版」）

5 市町村別悪性新生物部位別死亡率(人口10万対)

(平成18年)

区 分	悪性新生物 (全体)	食 道	胃	結 腸	直腸S状結腸 移行及び直腸	肝及び肝内 胆	胆のう及び その他胆道	膵	気管、気管 支及び肺	乳 房	子 宮	白 血 病
県南地域	271.0	11.1	45.1	26.8	11.8	20.9	17.6	28.1	47.7	5.9	6.5	5.2
白 河 市	266.1	16.7	44.1	36.5	12.2	16.7	21.3	22.8	44.1	1.5	3.0	1.5
西 郷 村	239.1	-	61.0	10.2	5.1	5.1	10.2	35.6	66.1	5.1	-	5.1
泉 崎 村	237.6	-	74.3	14.9	14.9	29.7	14.9	29.7	29.7	-	-	-
中 島 村	252.9	-	77.8	19.5	-	19.5	-	-	77.8	-	-	-
矢 吹 町	271.3	10.6	21.3	16.0	16.0	21.3	16.0	10.6	58.5	21.3	21.5	16.0
棚 倉 町	300.6	6.4	44.8	38.4	25.6	32.0	19.2	44.8	32.0	19.2	-	-
矢 祭 町	268.1	29.8	14.9	14.9	14.9	29.8	14.9	29.8	74.5	-	-	14.9
塙 町	353.9	9.6	47.8	19.1	-	38.3	19.1	47.8	38.3	-	37.4	19.1
鮫 川 村	259.7	-	47.2	23.6	-	47.2	23.6	70.8	-	-	-	-

(出典：平成19年版保健統計の概況・福島県保健福祉部)

6 病類別生活習慣病死亡率(人口10万対)及び割合(%) 県南・県・国比較

	平成15年						平成16年						平成17年						平成18年					
	死亡率			割合(%)			死亡率			割合(%)			死亡率			割合(%)			死亡率			割合(%)		
	県南	県	国	県南	県	国	県南	県	国	県南	県	国	県南	県	国	県南	県	国	県南	県	国	県南	県	国
合 計	579.3	583.3	491.2	100.0	100.0	100.0	563.5	594.6	497.2	100.0	100.0	100.0	622.7	613.3	516.2	100.0	100.0	100.0	592.3	605.7	515.3	99.9	100.0	100.0
脳血管疾患	135.3	143.9	104.7	23.3	24.6	21.4	150.1	135.0	102.3	26.7	22.7	20.6	147.4	142.3	105.3	23.7	23.1	20.4	122.1	130.5	101.7	20.6	21.6	19.7
（脳出血）	29.8	31.0	25.7	5.0	5.3	5.1	34.9	31.9	25.4	6.2	5.4	5.1	26.1	33.6	26.4	4.2	5.5	5.1	30.0	31.3	26.4	5.1	5.2	5.1
（脳梗塞）	90.2	94.9	64.2	15.6	16.2	13.1	107.4	85.1	62.4	19.1	14.3	12.6	105.0	92.5	64.2	16.8	15.0	12.4	78.4	82.1	61.0	13.2	13.6	11.8
（その他）	16.1	18.0	14.8	2.7	3.1	3.2	7.8	18.0	14.5	1.4	3.0	2.9	16.3	16.2	14.7	2.7	2.6	2.9	13.7	17.1	14.3	2.3	2.8	2.8
悪性新生物	246.2	262.9	245.4	42.6	45.1	50.1	250.4	282.1	253.9	44.4	47.4	51.1	270.6	278.5	258.3	43.4	45.4	50.0	271.0	284.6	261.0	45.6	47.0	50.6
（食道）	9.7	10.1	8.8	1.6	1.7	1.8	9.7	9.9	8.9	1.7	1.7	1.8	10.4	9.4	8.9	1.7	1.5	1.7	11.1	9.5	9.0	1.9	1.6	1.8
（胃）	48.3	47.2	39.3	8.3	8.1	8.0	53.1	50.0	40.1	9.4	8.4	8.1	58.0	45.3	39.9	9.3	7.4	7.8	45.1	45.7	40.0	7.6	7.5	7.8
（結腸）	25.8	22.6	20.5	4.3	3.8	4.1	20.1	22.8	21.0	3.6	3.8	4.2	26.7	24.4	21.5	4.3	3.9	4.2	26.8	25.3	21.7	4.5	4.2	4.2
（直腸及びS字結腸）	13.5	13.1	10.4	2.2	2.2	2.1	12.9	12.7	10.8	2.3	2.1	2.2	13.7	13.4	10.9	2.2	2.1	2.1	11.8	11.9	10.9	2.0	2.0	2.1
（肝臓）	18.0	22.7	27.0	3.1	3.8	5.5	19.4	25.3	27.4	3.4	4.3	5.5	17.0	21.5	27.2	2.7	3.5	5.3	20.9	22.9	26.7	3.5	3.8	5.2
（胆のう）	16.1	16.0	12.6	2.8	2.7	2.7	16.8	18.7	13.0	3.0	3.1	2.6	15.0	17.1	13.1	2.4	2.8	2.5	17.6	17.6	13.4	2.9	2.9	2.6
（膵臓）	16.8	19.3	16.8	2.8	3.3	3.5	16.2	19.5	17.6	2.9	3.3	3.5	20.2	21.0	18.2	3.2	3.4	3.5	28.1	22.2	18.5	4.7	3.7	3.6
（気管・気管支・肺）	42.5	48.5	45.0	7.2	8.2	9.2	37.5	48.7	47.5	6.7	8.2	9.6	39.8	52.2	49.2	6.3	8.5	9.5	47.7	53.8	50.1	8.0	8.9	9.7
（乳房）	7.1	6.8	7.8	1.2	1.1	1.6	5.2	8.3	8.4	0.9	1.4	1.7	6.5	9.1	8.6	1.0	1.4	1.7	5.9	8.0	8.9	1.0	1.3	1.7
（子宮）	5.1	5.6	8.2	0.9	0.9	0.8	10.2	7.0	0.0	1.9	1.2	0.0	3.3	4.0	8.3	0.5	0.9	1.6	6.5	7.6	8.5	1.1	1.3	1.6
（白血病）	4.5	5.8	5.6	0.7	0.9	1.2	8.4	5.8	5.6	1.5	1.0	1.1	5.9	6.1	5.8	0.9	1.0	1.1	5.2	6.7	5.9	0.9	1.1	1.1
（その他）	43.3	45.2	43.3	7.5	8.4	9.6	39.9	53.4	53.6	7.1	8.9	10.8	54.1	55.0	46.7	8.9	9.0	9.0	44.3	53.4	47.4	7.5	8.8	9.2
心疾患	181.7	159.2	126.5	31.3	27.4	25.7	148.2	160.1	126.5	26.3	27.0	25.4	186.5	175.1	137.2	29.9	28.5	26.6	182.2	172.2	137.2	30.8	28.4	26.7
（急性心筋梗塞）	44.5	52.0	36.9	7.6	9.0	7.5	29.8	52.7	35.2	5.3	8.9	7.1	42.4	55.9	37.4	6.7	9.1	7.3	36.6	55.2	35.7	6.2	9.1	7.0
（心不全）	81.2	51.6	40.4	14.0	8.8	8.2	53.1	49.2	40.9	9.4	8.3	8.2	57.4	54.6	44.6	9.2	8.9	8.6	50.3	55.6	46.3	8.5	9.2	9.0
（その他）	56.0	55.6	49.2	9.7	9.6	10.0	65.3	58.2	50.4	11.6	9.8	10.1	86.7	64.6	55.2	14.0	10.5	10.7	95.3	61.4	55.2	16.1	10.1	10.7
高血圧疾患	5.8	5.2	4.4	0.8	0.9	0.8	3.2	3.1	4.5	0.6	0.5	0.9	5.2	4.3	4.6	1.0	1.0	0.9	5.9	4.3	4.6	1.0	0.7	0.9
糖尿病	10.3	12.1	10.2	1.7	2.0	2.0	11.6	14.3	10.0	2.0	2.4	2.0	13.0	13.1	10.8	2.0	2.0	2.1	11.1	14.1	10.8	1.9	2.3	2.1

(出典:国民衛生の動向・財団法人厚生統計協会及び保健統計の概況・福島県保健福祉部)